

ケアマネレター

～鎌倉ケアマネ連絡会広報誌～

第 25 号

編集発行：鎌倉ケアマネ連絡会

発行責任者：佐藤 秀之

発行日：令和 2 年 3 月吉日

地域資源を知ろう！

障害者のある方が地域で安心して暮らすための基盤づくりを目指します。

スタッフのみなさま



平塚恵一氏 中島亜紀氏 三井圭子氏

センター長
石塚敏樹氏

私たちが皆さんからのご相談にお答えします！

ケアマネ編

こんなときはセンターへご相談

- ・8050 問題を抱える家庭・・
- ・暴力やアルコール、就労していない等・・
- ・ご家族から度々不安があると相談されている・・
- ・長年引きこもっているようだが・・

こんな息子さんや娘さんがいるという場合、どこに繋げたら良いか紹介します。

あるいは、一緒に検討していくので、ご連絡頂ければと思います。



社会福祉士・精神保健福祉士・相談支援専門員等が対応します！

鎌倉市

基幹相談支援センター

場所：鎌倉市福祉センター内

電話：0467-39-6122

受付時間：月～金 8:30～17:15



センターの役割・主な業務

「障害者総合支援法 77 条の 2」に基づく施設で市内の相談支援の充実、相談体制の強化を図るために、平成 28 年 7 月 1 日に開設されました。

● 総合的・専門的な相談支援

- ・地域の相談支援事業者（13箇所）が抱える困難事例に対する助言等バックアップ機能の役割
- ・市と連携して相談支援事業所連絡会の企画運営
- ・地域の相談支援体制強化の取り組み
- ・地域の社会資源等の情報提供

● 障害者支援協議会関連業務

- ・市と協働した協議会の企画運営、事務局業務

● 広報・人材育成

- ・市民等への啓発活動（講演会等）
- ・地域の相談支援専門員の育成



ケアマネジャーのみなさんへ

日頃よりお世話になっております。

鎌倉で【誰もが希望する暮らしが実現出来る】ように、また、【夢を叶えられる地域】となるように、その基盤作りをケアマネジャーの皆さんと共に連携して取り組めたらと願っています。（栗田京子氏より）

鎌倉の歴史を知ろう！

鎌倉歴史コラム

女神と龍の切ない恋物語 [五頭龍伝説]

龍口明神社は、鎌倉で現存する神社の中でも最も古い社とされています。昔々、深沢の森の中に大きな湖があり、5つの頭を持つ龍が住んでいました。五頭龍は、洪水や地震を起し、田畠を荒らす悪い龍でした。地震の後に天女(弁財天)が現れ海の上に美しい島を作りそこに住まいりました。その美しさに一目惚れした五頭龍は求婚しましたが今までの悪行では夫婦になれないと断られ、改心して村人に尽くしたのでようやく夫婦になれたという昔話が龍口明神社にはあります。

湘南モノレールの西鎌倉を降りて、小高い丘の中腹にあります。昭和53年に江の島駅近くから現在の地に移転されました。



龍口明神社

ケアマネジャー紹介コーナー

みんなでつながろう！



特養・有料・GH、病院など介護現場経験の長い高木さん。（写真右）介護が必要な状態になってしまっても、住み慣れた地域において、今までと変わらない生活を送り続けていただきたいと仰っていました。鎌倉ケアホームえんでは4年目のケアマネジャー。今泉地域における地域課題にも積極的に取り組む吉田施設長（写真左）と共にお話を伺いました。今年の夏ごろには隣棟にカフェを併設するグループホームを立ち上げる予定との事です。ご協力ありがとうございました。

小規模多機能居宅介護

**鎌倉ケアホームえん
高木ケアマネジャー**

Q. この仕事を始めたきっかけは？

- ・もともと介護福祉士として働いていて、子育てを始めるようになりケアマネになりました。

Q. 休みの日の過ごし方は？

- ・小学校4年生の子が野球をやっているのでその手伝いに行ったりしています。

Q. この仕事をして一番うれしかったことは？

- ・利用者家族からありがとうと言われた時。

Q. ストレス解消法は？

- ・友達と飲みに行ったり、遊びに行ったりしています。

研修部会

今年度も皆さんからのアンケートを参考に、タイムリーな研修会を開催いたしました。

数年ぶりに昼間の研修会も企画し、夜間の参加は難しい方の参加も多くありました。

この形は次年度も継続していきたいと考えています。

令和2年度は「地域共生社会」について学びの機会を多く作りたいと考えています。

高齢者を取り巻く環境は変化し、私たちに求められるニーズは更に多様化します。他法や多制度への理解を深め、適切な連携を図らなければならない場面が増えていくことは間違ひありません。

変化に対応できるスキルが習得できるよう企画して参ります



調整検討部会

『Happyな退院 について考えよう』

第1回 入退院支援 地域連携

在宅療養を叶えるために皆ができること

研修会に
参加しました！

主催：鎌倉市医師会

共済：湘南鎌倉総合病院

日時：令和2年2月3日（月） 18:30～20:30

場所：湘南鎌倉総合病院 別棟3階講堂

今年度（令和元年）調整検討部会では地域包括ケアシステムの構築に向けた活動とし、鎌倉市医師会主催で行われた「入退院支援地域連携」研修に参加しました。

自宅で過ごしたい利用者の願いを叶え実現するために、入退院時に円滑な多職種連携が行えるようお互いの役割、機能、しくみ及び要望等について各担当より報告がありました。連絡会からはケアマネジメントプロセスと「入退院時情報提供書」の活用ポイントについてお伝えしました。今後も各機関との連携に取り組んで参りますのでよろしくお願ひいたします。



ケアマネジメントプロセスについて
説明している富永副代表（右端）

お知らせコーナー

鎌倉市役所より

《研修等の中止のお知らせ》

毎年、3月から4月にかけて開催している、右記の研修等は新型コロナウイルスの影響により、今年は開催しないこととしましたので、お知らせします。今後の予定等につきましては、鎌倉市のホームページに随時掲載しますので、ご確認ください。

～中止となる研修会等～

- 介護保険事業者研修会
- 鎌倉市ケアプラン点検事業報告及び説明会
- 主任介護支援専門員会議
- 介護保険住宅改修研修会

鎌倉市 介護保険事業者へのお知らせ



かまくら地域介護支援機構より

2019年度は 三者合同研修から五者合同研修へ

2015年から始まった、ケアマネと訪問介護・通所介護との合同研修も、当初はデイへの送り出しや情報共有に終わっていましたが、担当者会議の開催や日常的なケアマネジメントの調整により、回を重ねるごとにその内容が進化してきました。また、言われて久しい医療と介護・福祉の連携は、2006年から支援機構開催の医療と福祉のネットワーク会議で「地域包括ケア鎌倉型を創ろう」と目標を掲げ様々な課題について話し合われてきました。今年度からは、鎌倉市在宅医療介護連携相談センターが中心となって医療と福祉の連携のための研修が開催されています。そこで、今年度の合同研修からは、地域密着型サービスや地域包括支援センターの皆さんのが加わり、5つの職種で開催されています。

さて、「地域包括ケア鎌倉型」って？

鎌倉型って、何を指すのだろう？「鎌倉らしさ」などなど、と論議は深まりますがこれといった正解は出てきません。ではなぜ地域包括ケア鎌倉型と言うのでしょうか。高齢者の尊厳を支えるケアの確立として、2005年に介護保険法の目的に尊厳の保持が明確化されました。その人らしさとよく言われますが、利用者の主觀を見失わず、想いを受け止め、その人が望む暮らしが、人生を終える時まで実現できるような対人援助を、ケアマネとしては出来るようにしていきたいものです。このような援助過程が、まさに「地域包括ケア鎌倉型」と言うことではないでしょうか。

支援機構は、鎌倉でケアマネをするみなさんへの後方支援をしていきます

2020年度も皆様のお仕事に資する研修を提供できるように、そして会員の皆様とともに歩んでいきたいと考えております。

編集後記

今年の冬は暖かい日が続きましたね。春の訪れを感じるような2月某日、居宅訪問にお伺いさせていただきました。レンガ造りの洋館風の建物と手入れの行き届いたお花たちに癒されながら、記事にできないのが残念なくらい地域にかける夢をたくさんお聞きしました。同じ地域に住みながら地域の方と一緒に自分事として様々なアイデアを形にしていく姿に大いに刺激をうけました！